

No	113	事務事業評価票		所管部長等名	建設部長 船藏 満彦
評価対象年度		平成23年度		所管課・係名	鏡建設事務所 下水道係
				課長名	和久田 幸彦
(Plan) 事務事業の計画					
事務事業名	八代公共下水道事業(流域関連 鏡処理区)		「主たる事業の執行状況調」における件名又は事業名	鏡処理区幹線工事及び管渠布設事業	
会計区分	公共下水道事業特別会計				
予算の事業名	鏡処理区幹線工事及び管渠布設事業				
事業コード(大-中-小)	11	—	01	—	27
施策の体系 (八代市総合計画の 実施計画における 位置づけ)	基本目標(章)	第3章 安全で快適に暮らせるまち			
	施策の大綱(節)【政策】	①うらおいのある快適なまちづくり			
	施策の展開(項)【施策】	⑤下水道の充実			
	具体的な施策と内容	(1) 快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全			
根拠法令、要綱等	下水道法				
実施手法 (該当欄を●)	<input checked="" type="radio"/> 全部直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> その他()			法令による実施義務 (該当欄を●)	<input checked="" type="radio"/> 義務である <input type="radio"/> 義務ではない
事業期間	開始年度	合併前		終了年度	未定

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を) 平成36年度目標年度における管内将来人口15,900人のうち、下水道が有利とされる計画処理人口13,300人	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか) 各家庭からの生活排水等の汚水を下水道で速やかに排除処理することから、住宅周辺の環境が改善され、トイレの水洗化により清潔で快適な生活に寄与するとともに、河川など公共水域の水質の改善を図る。
	内容 (手段、手法等)	【全体の事業計画】 総事業費 12,659,000千円 うち、平成24年度 151,762,000円 平成23年度 158,700,000円 【23年度の事業概要】 平成23年度については、全体計画の3割を占める文政地区への幹線工事及び市営郷開団地(60戸)への枝線工事等を実施。	
事業開始時点からこれまでの状況変化等	八代北部流域関連として平成7年度に全体計画(計画処理面積415ha、計画人口19,000人)で事業着手し、平成14年1月に一部供用開始した。その後、平成19年度に全体計画を変更(計画処理面積407ha、計画人口13,300人)した。そして、平成21年度末には大口事業者の㈱パナソニック セミコンダクターディスプレイ熊本が工場閉鎖、新たに㈱神田工業が操業を開始したものの、使用水量が少ないことから以前ほどの使用料収入の見込みは期待出来ない。		

コスト・成果指標の推移		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	215,496	174,828	162,265	152,500	152,500	152,500	
	事業費(直接経費)	千円	204,996	164,328	151,765	142,000	142,000	142,000	
	財源内訳	国・県支出金	千円	87,141	70,689	57,000	50,000	50,000	50,000
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円	113,900	87,100	89,800	87,000	87,000	87,000
		その他()	千円						
		一般財源	千円	3,955	6,539	4,965	5,000	5,000	5,000
		概算人件費(正規職員)	千円	10,500	10,500	10,500	10,500	10,500	10,500
	正規職員	人	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	
	従事者数	人							
	臨時職員等従事者数	人							

(もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画	
	①	鏡川における水質検査値(BOD)	下水道事業による公共用水域の水質改善の効果が直接影響してくるのが、この水質検査値であるため指標として設定した。	mg/l	2.2	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6
	②									

<記述欄>※数値化できない場合

(Check) 事務事業の自己評価				
事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A (現状分析等) 本事業については、幹線及び処理場等の主要施設を県が管理運営し、それ以外の部分を関連市町が担当しており、事業の目的及び市が事業主体であることへの妥当性はあるものの、近年における合併浄化槽の低価格化に伴い、未整備地区においては合併浄化槽による普及促進が行われていることから、それぞれの利点を生かした見直しが望まれる。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、 事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	B
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していま せんか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	A
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A (現状分析等) 下水道事業の有効性については、水質検査の値が示すとおり着実に改善している。 なお、今後については合併浄化槽の普及も見込まれることから現認可計画が終了する平成26年度に下水道事業全体計画区域の見直しを考えている。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入など により、成果を下げずにコストを削減 することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A (現状分析等) 事業の効率性については合併浄化槽の普及促進を考慮し、それぞれの地域風土に適応した処理方法を活用する必要がある。このことから今後の事業実施については、それぞれの利点を生かし、効率的な整備を実施する。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業との 統合・連携によりコストの削減は可能 ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	B
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方法 により、人件費の削減は可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	B
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A

(Action) 事務事業の方向性と改革改善																						
今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(要改善) <input type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 今後の方向性については、現認可計画が平成26年度までの認可計画となっており、平成26年度に次回認可取得について必要な手続きが必要となることから、認可策定と併せて全体計画の見直しを行う。 この作業では県が実施している上位事業の流域下水道計画に密接に関係することから、県及び流域関連市町と整備の方針等、考え方を共有しながら作業を行う必要がある。																				
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 全体計画を見直すことで、合併浄化槽による処理区域を明確にしてその区域を拡大することにより、同処理方式による普及促進が期待出来る。 このことから、同一の目的とした両制度が動きだすことにより、水質改善の早期発言が可能となる。																					
	改革改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下		
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					

外部評価の実施	有：他の評価制度による外部評価	実施年度	平成23年度
---------	-----------------	------	--------

決算審査特別委員会における意見等	(委員からの意見等)
------------------	------------